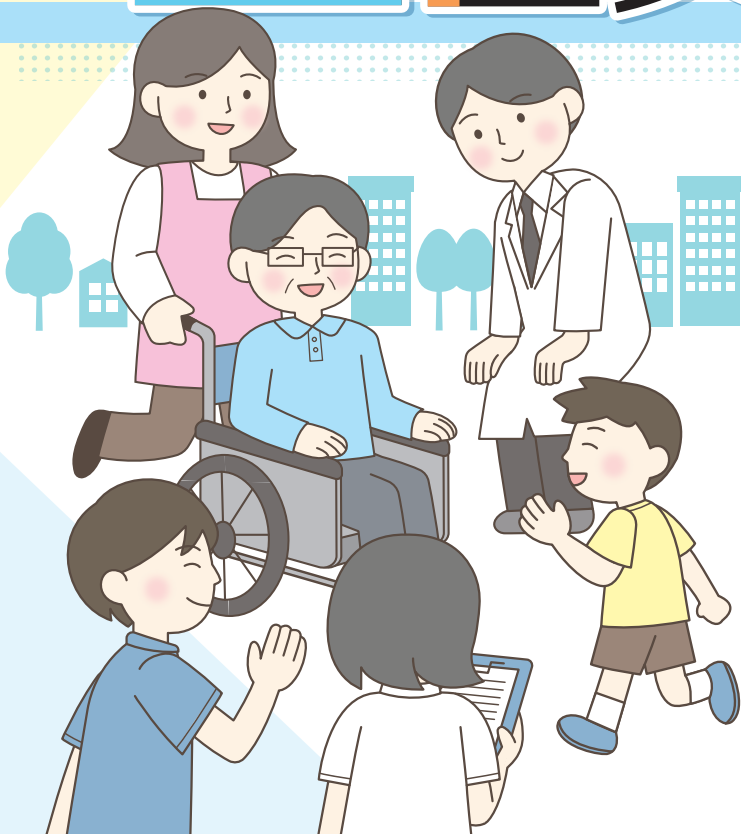


第17回 地域医療を守る運動

全国交流集会



いま、国が進める「全世代型社会保障改革」を推進、具体化するために、「新たな地域医療構想」のもと、全国各地で病床の削減や病院の統廃合問題が深刻化しています。身近な医療機関の休止・廃院は、私たちのいのちと健康な暮らしに重大な影響を与えます。医療は費用対効果だけで測れるものではありません。災害や新興・再興感染症への備えも含め、必要な時にいつでも適切な医療を受けられる体制が必要です。国や自治体の押し付けではなく、地域の特性や住民の切実な声に基づいた医療提供体制をつくることが求められています。本集会では、各地の現状や先進的な取り組みを交流し、地域医療の充実へつなげていく運動の重要性を確認していきます。地域住民が主役となり、誰もが安心して住み続けられるまちづくりへつなげるため、ともに一步を踏み出し、地域医療を守る運動を全国へ広げていきましょう。皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

日時
2026年

11月23日 祝月

11:00～16:30（閉会予定）

※希望者のみ 交流会あり（参加費：5,000 円）

ところ（オンライン併用）

平和と労働センター・
全労連会館 2 階ホール

参加費（オンラインは無料）

現地参加・資料代 1,000 円

集会現地参加申込締切 11月13日（金）

集会オンライン参加申込締切 11月20日（金）

（オンライン参加は別途 Zoom 登録が必要です）

参加申込み



<https://x.gd/yMCGJ>

11:00 開会

（主催者挨拶／実行委員会）

11:10 記念講演

「新・地域医療構想にみる医療保障の危機
～潜在化する医療ニーズと住み続ける権利を考える～」



ながとも まさてる
長友 薫輝氏（佛教大学社会福祉学部教授）

プロフィール

1975年宮崎県生まれ。日本医療総合研究所副理事長、自治体問題研究所理事、総合社会福祉研究所理事、日本医療福祉政策学会幹事。

主な著書『全世代型社会保障改革とは何か』2025年、『コロナ禍で見た保健、医療、介護の今後』2022年など。

13:20 基調報告

13:50 特別報告

14:45 各地の取り組み交流

16:30 閉会挨拶

17:00 有志交流会

主催 「第17回地域医療を守る運動全国交流集会」実行委員会

実行委員会団体 日本医療労働組合連合会／中央社会保障推進協議会／日本自治体労働組合総連合

事務局 日本医療労働組合連合会 TEL03-3875-5871 ホームページ<https://www.irouren.or.jp/> E-mail : n-iryomamoru@irouren.or.jp